

□ 要請番号 (JL32717B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ペルー	A101 コミュニティ開発		個別	交替 2代目	2年	・2018/2 ・2018/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力庁

2) 配属機関名 (日本語)

タンボグランデ町役場

3) 任地 (ピウラ州タンボグランデ町) JICA事務所の所在地 (リマ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約3.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

タンボグランデ町はペルー北部ピウラ州のサンロレンソ盆地に位置し、人口9万7千人、農業・畜産業の盛んな町である。同盆地にはキロス川を水源とするサンロレンソ貯水池があり、多くの農家がこの灌漑システムを利用してコメ、トウモロコシ等を栽培しており、その他にも、マンゴー、レモン、アボガドが生産され輸出されている。町役場は約50名の職員を有し、ボランティアの所属先である経済開発課職員は6名。アルガロピナと呼ばれる地元産品の生産組合では、2014年からコミュニティ開発の青年海外協力隊(JV)が活動した。現在JV1名が活動中(2018年10月)、また、カウンターパートが課題別研修に参加した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ピウラ州は果物と野菜の大産地であり、海外への輸出も盛んに行われている。しかし、個人農家の多くは品質管理や量産のための投資が出来ず、大規模農園との格差拡大が問題となっている。そこで、配属先はレモンとマンゴーの生産農家を組織化する試みを進め、ある程度の生計向上に繋げている。さらに、女性や青年層を取り込むことで活性化させ、農業の観光資源化を目指している。また、この観光化の動きに合わせ環境美化を奨励し、ゴミの分別回収とリサイクルについての啓発活動も推進している。現JVは、農業、環境、観光を地域経済の活性化の重要要素として、行政と農家、リサイクル業者等の連携を促しており、配属先はこの活動の継続を求め、本要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

地域の生活諸相を調査し、町役場職員等と共に、主に以下のような活動が期待されている。

- 1.レモンとマンゴー農園の生産者グループの活動調査と把握
- 2.農業を観光資源化するための、様々なアイデアの提供と実施
- 3.資源ゴミの分別回収推進のための啓発活動の実施

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、コンピュータ

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚:

大卒・女性3名、男性3名

活動対象者:

農民(識字率約7割)年齢層20代から60代まで幅広い年齢層

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：同僚となる職員とのバランス

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (ステップ気候) 気温： (15～35℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (不安定)

【特記事項】